

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会

令和3年度第3回理事会(令和3年8月1日)

議事録

【日時】令和3年8月1日(日) 19:00~21:30

【会場】WEB 理事会 (WEB 会議アプリケーション Zoom 使用)

定刻に役員14名とオブザーバー1名の WEB 参加 (会議アプリケーション Zoom を使用) および WEB 出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、本会議は成立したことを議長清水が宣言した。

【次第】1、出席確認 2、議長選任 3、議事 4、議事録署名人選任 5、閉会の辞

【出席15名】理事：清水(慎)、草山、藤田、古思、清水(克)、大屋、平岡、秋澤、
宋、長野、橋口、北原

監事：森下、日野

オブザーバー：三田

【欠席1名】秦

【議長】清水会長 【書記】藤田、三田 【議事録署名人】清水(慎)、森下、日野

【議題】

〔I〕報告事項

1. 入退会の報告(2021年5月30日以降、7月31日まで)

入会者 4名(正会員)+1名(学生会員)

退会者 1名(正会員)

令和3年8月1日現在の会員数229名 (正会員221名、学生会員8名)

現在審議中 0名

2. みなし決議案

・正会員入会審査 松尾彩子殿 承認の件(令和3年6月20日)

・正会員入会審査 明石春花殿 承認の件(令和3年7月6日)

3. 会務報告(業務執行理事報告)

(1) 業務執行理事会について

藤田副会長より、秦副会長の辞任の意向の件、保険部の療養費の過不足の件、県への事業報告、株式会社インフォビジョンとの件、法人カード作成について理事会にて話合う予定のことが議題に挙げられたとの報告があった。

4. 各部報告

(1) 総務部：

藤田総務部長より、宋理事と打ち合せを行い HP の改訂(治療院の欄の拡充)を行っているとの報告があった。また、HP について宋理事より株式会社インフォビジョン様との整備を行っているとの報告があった。

(2) 財務部：

古思財務部長より、6月30日に県に令和2年度の事業報告を行い、2週間後ほどに県より療養費について収益事業であるが赤字になっているので黒字に是正する必要があるとの報告があった。草山副会長より、会全体として保険部の経費が多く、他の部より人件費が多いことを踏まえ、ホームワークなどを行えるように対策をしているとの補足説明があった。清水会長より、財務部と保険部にて数値化し話し合いを行うように指示があった。

(3) 組織共済部：

長野組織共済部長より、前回の理事会審議事項の『新入会員用グループメールの立ち上げについて』について、利用契約・ポリシーなどをまとめ検討をしているとの報告があった。地区割(案)について、窪田元理事の意見を参考にし、事務局のデータより振分けを行い、新しいものを準備中であるとの報告があった。

(4) 学術部：

大屋学術部長より、8月22日新人研修、9月5日関東甲信越ブロック共同開催の第1回学術講習会、9月26日第2回学術講習会の案内を次回の郵送物に含めるとの報告があった。

(5) 広報部：

特になし。

(6) 普及部：

秋澤普及部長より、本年度の横浜マラソンは中止となり、オンラインによる横浜マラソンが開催される予定で、大会として動画を作成し大会HPにてアップする予定であるとの報告があった。また、市民講座に普及部員の高橋先生に講師を依頼して、来週に打合せを行う予定であるとの報告があった。

(7) 保険部：

清水(克)保険部長より、8月1日療養費適正運用講習会は中止したとの報告があった。

(8) 危機管理委員会：

特になし。

(9) 学生委員会：

北原学生委員会管理者より、8月2日湘南医療福祉専門学校と呉竹鍼灸柔整専門学校への学校訪問、8月5日神奈川衛生学園専門学校と横浜医療専門学校への学校訪問を行う予定であるとの報告があった。

5. その他

藤田副会長より、PC関係と備品関係の管理を整備しているとの報告があった。PCについて、秋以降にウィンドウズ11が出る予定なので新規購入を検討していきたいとの報告があった。PC以外の備品について、事務局が備品台帳を作成し各部へ記載依頼が届くので購入、使用している備品などの入力の依頼があった。また、2名の会員を部員候補として、新入会員で税理士資格を有している志村氏を財務部に、学術部員と普及部員である高橋氏を総務部のIT委員にと考えているとの報告があった。

草山副会長より、保険部のデータ管理についてネットワーク上で接続できるNASとクラウドストレージのDropboxの使用検討を行い、試験的に無料のDropboxを使用しているとの報告があった。将来的には各部で使用の可能性があると報告があった。

〔Ⅱ〕 審議事項

(1) 総務部：

① ライフプランの件

藤田副会長より、FT パートナーズ所属ファイナンシャルプランナー宮永氏に学術講習会後に無償にて会員限定のライフプランに関して共益事業（但し、支出および収益は無し）として開催するのはどうかとの提案があった。また、学術講習会後が望ましいのは、運営面でのコストが発生させない点、運営でかかる費用（手当等）を学術部員が行う事で事業費が掛からないとの説明があった。会員限定にするのは、会員の帰属メリットのためであるとの説明があった。

・大屋学術部長より、個別対応の相談が多いのではないだろうかとの意見があった。

・清水会長より、最終的には個別対応が必要だと考えられるが、まず勉強のために全体でのレクチャーが必要だとの意見があった。

・藤田副会長より、ライフプランナーに相談する場合、通常相談で5,000円程度、ライフプランを作成すると10,000～15,000円程度、企業所属の場合無償が多いが案件によっては費用が発生するとの説明があった。

会員向けにライフプランに関する講習を開催するという情報を発信するという審議を行い、賛成多数で承認した。意見として個別企業に特典になることが望ましくないというのがあり、藤田副会長より、それを踏まえて一企業に偏るものではなく総論としてのライフプランの話をしてもらうように交渉していくとの説明があった。

② HP 契約の件

藤田副会長より、2013年より株式会社インフォビジョン様と業務委託契約を結んでいるが、改めて契約を取り交わすため、HP作成・維持などの委託料について説明があり、その上で、契約書を介して締結したい旨の説明があった。

・宋理事より、HP作成費用について、2013年から2022年で契約しており、また、年度であるとの説明があった。HPの更新について、株式会社インフォビジョン様との話し合いにて今後は週1回の更新、依頼は金曜日締切で翌週金曜日更新との説明があった。

・清水会長より、株式会社インフォビジョンから乗り換える場合はデータなどの移行はスムーズに行うことができるのかとの質問があった。宋理事より、データのバックアップは行えるとの説明があった。

株式会社インフォビジョンと業務委託契約を締結してよいかとの審議を行い、全会一致で承認した。藤田副会長が最終的に株式会社インフォビジョンと交渉を行い、詳細について覚書などを作成するとの説明があった。

(2) 財務部：

特になし。

(3) 組織共済部：

① 学生会員入会審査（伊藤恵美殿）

伊藤恵美殿の学生会員の入会審査を行い、全会一致で承認した。

② 学生会員入会手続き方法の変更（長野理事、北原理事）

長野理事より、学生からの意見で『事務局に電話連絡をするのが憚られる』、『事務局に電話しても繋がらない』、『入会申込書の記入箇所が多すぎる』、『学歴・職歴などを伝えることに抵抗がある』、『入会申込から入会許可まで時間がかかる』などがあり、また正会員になる際に改めて入会審査が成されるので、提案の1つ目として学生会員の入会手続きの簡略化をしてよいのではとの説明があった。また、その際に提案の2つ目としてエクセル

データやグーグルフォームを利用して行えるのではとの説明があった。

・藤田副会長より、直筆が必要な部分があるのではないかと、簡略化することのメリットとデメリット、エクセルデータやグーグルフォームを使用することについて、正会員の入会手続きへの展開などについて議論するとよいとの意見があった。

・清水会長より、学生証をスマートフォンへ移行も検討している学校もあり、今の学生に対応できるようにしたほうがよいとの意見があった。

・清水（克）理事より、学生が事務局に入会申込書の依頼をし、事務局が学生に入会申込書を送付、その後の学生が入会申込書の記入及び事務局への送付が手間であるとの意見があるとの報告があった。

・宋理事より、宣誓書は HP でダウンロードし事務局に送付してもらうことになっているとの指摘があった。また、エクセルデータの場合事務局対応で、グーグルフォームの場合長野理事、北原理事、清水（克）理事対応となっているので、窓口などを1本化したほうがよいとの意見があった。

・清水会長より、みなし決議に時間を要しているのではないかととの意見があった。清水（克）理事より、みなし決議の期間は5日であるとの説明があった。

・大屋理事より、公益社団法人であるので会員の質の担保を考える上では、グーグルフォームなどを利用してある程度の情報は直筆で必要なのではないかととの意見があった。

・宋理事より、『学生が事務局に入会申込書の依頼をし、事務局が学生に入会申込書を送付』作業に時間を要しているので、学生用の入会申込書と宣誓書を HP からダウンロードできるようにすればよいとの意見があった。

・藤田副会長より、当会の部員候補・理事候補を見定めるために会員の学歴・職歴は知っておきたい側面があるので、簡略化を行いつつ後でグーグルフォームなどにより任意にアンケートを行えるようにすればよいのではとの意見があった。

・草山副会長より、学生会員は正会員になるまで時間があるので講習会などで後日聞いたりすることが可能であるので、現時点は簡略化に賛成であるとの意見があった。

学生会員入会手続き方法の変更について、簡略化した入会申込書を採用するという審議を行い、全会一致で承認した。その上で、グーグルフォームとアンケート（電話での聞き込み）の内容について再度検討すること、振込用紙を送付することはせずメールで振込先などを学生会員に伝えること、メールについては事務局と相談すること、当会のメールアドレスを取得することというの提案があった。

(4) 学術部：

特になし。

(5) 広報部：

特になし。

(6) 普及部：

特になし。

(7) 保険部：

特になし。

(8) 危機管理委員会：

特になし。

(9) 学生委員会：

特になし。

(10) その他：

①法人カード作成の提案

草山副会長より、Zoom ミーティングやクラウドストレージサービスを使用するに当たり、有料契約の支払いを理事個人のクレジットカード決済で処理し、事後精算で対応しているとの説明があった。WEBでのキャッシュレス決済支払いをする機会が増えてきており、理事個人のクレジットカードで決済しないように、会のカード(法人カード)を作り運用するという提案がされた。

・清水会長より、業務執行理事会にて法人カードは使用するものは限定すること、使用する場合は理事会に委ねることなどが議論されたとの説明があった。

法人カードを作成してよいかとの審議を行い、全会一致で承認した。草山副会長より、定成事務局員に銀行で手続きを行ってもらいこと、清水会長に署名を行ってもらうこと、また3年間の決算報告書類が必要なこと、書類がまとまったら2週間手続きが行えることなどの説明があった。

②秦副会長の当会役員辞任の意向について

清水会長より、秦副会長より辞任の意向があるとの説明があった。理由として、当会の人事について個人として動いてしまったことの反省を含め当会役員辞任の意向があったとの説明があった。

秦副会長の辞任を認めるという審議を行い、賛成多数で承認し、北原理事が回答を保留した。

〔Ⅲ〕 その他

秦副会長の辞任に伴い、下記の通り役員が引き継がれた。

- ・75周年事業の実行委員長に草山副会長が就任する。
- ・今年度の救急救命講習について平岡危機管理委員が担当する。

以上、21:30をもって令和3年度第3回理事会が終了した事を議長清水が宣言し、閉会となった。

次回、令和3年度第4回理事会は、9月19日(日)19:00~21:00に開催予定。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

令和3年8月1日

代表理事

清水 慎司

監事

森下 元

監事

日野 博

